

九州上海経済交流ミッション 概要報告書

平成26年8月31日(日)～9月3日(水)

九州経済国際化推進機構

ミッション概要

1. 目的

オール九州の官民トップによる上海経済交流ミッション団を中国・上海市に派遣し、上海市政府や上海経済団体等との交流基盤の確立を目指すとともに、投資、環境、観光、医療等の分野におけるビジネス交流拡大や学術交流の強化に向け、各分野でのMOU締結やトップセールスを実施する。

2. 日程

日程	行事(内容)
8月31日 (日)	福岡→上海 ・ 現地企業視察 ・ 在上海日本総領事館公邸での交流会 【上海泊】
9月1日 (月)	・ 九州上海シンクタンク懇談会 ・ 九州上海環境ビジネス促進懇談会 ・ 九州上海観光交流懇談会 【上海泊】
9月2日 (火)	・ 九州上海重粒子医療連携懇談会 ・ 現地企業視察 ・ 九州上海投資交流促進懇談会 【上海泊】
9月3日 (水)	・ 上海市幹部表敬訪問 上海→福岡(MU5087)

3. メンバー(84名(添乗員2名を含む))

【団長】

(一社)九州経済連合会 会長 麻生 泰

【副団長】

(一社)九州観光推進機構 会長 石原 進
九州経済産業局 局長 岸本 吉生

【団員】(主なメンバー)

福岡県(上海事務所長)
長崎県(次長 他)
熊本県(知事、議長 他)
大分県(上海事務所長)
宮崎県(副知事 他)
鹿児島県(上海事務所長)
北九州市(理事 他)
福岡市(特区部長 他)
九州経済産業局(局長、他)
九州経済連合会(国際部長 他)
九州経済調査協会(理事長 他)
九州電力(株)(環境部長)
西日本鉄道(株)(取締役執行役員) 他

主な事業の概要①

＜九州上海シンクタンク懇談会＞

- ◇ 九州側から約30名、上海側から約10名が参加。
- ◇ 九州側は九州経済調査協会が九州の経済概況及び協会の事業概要に関して、上海側は上海社会科学院が調査研究内容(上海の高齢化と高齢者サービス事業、上海自由貿易試験区)に関してプレゼンを実施、双方で共同研究の実施や研究資料の交換等のMOUを締結。



＜九州上海環境ビジネス促進懇談会＞

- ◇ 九州側から約50名、上海側から環境関連企業等約30名が参加。
- ◇ 年々、中国における環境規制が厳しくなっている中、九州の強みである環境技術の中国市場展開が期待されている。
- ◇ これらを背景に、九州側からは北九州市の取り組みや九州企業の環境技術紹介のプレゼンを行い、中国側からは日本企業の技術を活用した中国におけるビジネス展開の可能性についてのプレゼンを実施。



＜九州上海観光交流懇談会＞

- ◇ 九州側から約70名、上海側からは上海周辺の中国旅行会社から約40名が参加。
- ◇ 九州から距離も近く、日本への観光意欲が高い上海からの観光客を九州に誘致するため、九州観光推進機構は、上海周辺(上海市、江蘇省、浙江省)の中国旅行社28社とMOUを締結。今後、当機構が九州向け商品の企画・開発について可能な限り協力することを条件に、中国旅行会社28社は九州向け旅行商品を積極的に企画することで合意。



主な事業の概要②

＜九州上海重粒子医療連携懇談会＞

- ◇ 重粒子医療関係者等、九州側から約20名、上海側から約10名が参加。
- ◇ 重粒子医療施設がある上海市陽子・重粒子医院において、九州上海双方からのプレゼン(陽子線・重粒子線を用いた最先端がん治療技術、施設管理技術等)、意見交換及び施設見学を実施。



＜九州上海投資交流促進懇談会＞

- ◇ 九州側から約50名、上海側から企業関係者約30名が参加。
- ◇ 一昨年、上海市において「対日投資誘致セミナー」の開催を計画していたところ、日中関係の悪化により中止となった経緯から、今年度の九州経済国際化推進機構事業として実施。
- ◇ 九州と上海間での相互民間投資拡大のため、九州経済連合会が、上海で投資意欲が高く、中国では珍しい民間企業集団である新滬商連合会と、経済交流団の相互受け入れ、ビジネスパートナーの相互紹介及びビジネス情報の交換等を柱とするMOUを締結。
- ◇ 九州経済産業局長からは「九州の経済概況・投資環境」について、福岡市からは福岡市創業特区について、さらに九州企業からは「九州の投資案件」について、それぞれプレゼンを実施。



成果と課題

【成果】

＜新滬商連合会と九州経済連合会との経済交流に関するMOU締結＞

九州と上海の間での相互民間投資拡大のため、九経連は、上海で投資意欲の高い企業集団である新滬商連合会との間で、経済交流団の相互受け入れやビジネスパートナーの相互紹介等を柱とするMOUを締結。

＜上海から九州への観光客増加に向けたMOU締結＞

九州から距離も近く、日本への観光意欲が高い上海からの観光客を九州に獲得するため、九州観光推進機構は、上海周辺の中国旅行社28社と九州向け旅行商品の積極的な企画を柱とするMOUを締結。

＜政府系シンクタンクと学術面での協力についてMOU締結＞

九州経済調査協会は、日本研究に対して中国政府の信頼が高く、政策提言の採用率が高い上海社会科学院(日本経済センター)と、共同研究、研究員の交流及び研究報告書の資料交換等についてのMOUを締結。

【課題】

＜九州の重粒子線治療施設の低い稼働率＞

九州においては、「SAGA HIMAT(佐賀県鳥栖市)」及び「メディポリス指宿(鹿児島県指宿市)」の2つの施設が重粒子線治療を行っており、今後、上海から富裕層の患者を中心に誘致も想定している中、九州の両施設の稼働率が、上海市陽子・重粒子医院に比べて低いため、稼働率の改善が課題。

＜環境企業の上海進出における壁＞

今年、中国において20年ぶりに環境保護法が改正されるなど、年々、中国における環境規制が厳しくなっている中、九州の強みである環境技術の中国市場展開が期待される。しかし、上海での環境ビジネスは、地元との競合が激しく、参入が難しい状況であり、中小企業が単独で進出することについては課題が多い。